

コロナ禍で想うこと

7月4日から2億円分、プレミアム率100%（例…1万円で2万円使える）の「飲食・宿泊券」を、市民を対象に発売します。新型コロナウイルスの影響が著しい業種での利用に限定し、市民の力で市内経済の早期回復をめざすものです。長らく活動を自粛してきた市民にとっては、会合の再開や飲食店などを利用することに、まだ抵抗感があるかもしれません。しかし、そろそろ「街に出よう！」。プレミアム付き飲食・宿泊券がそのきっかけになってもらいたい。臨時議会で発行を決めた6月19日、「活動再開を宣言する会」と称し、経済団体・県地域振興局・市議会・記者会のみなさんと街に繰り出しました。私たち自らが飲食店の積極的な利用をアピールすることが狙いです。新型コロナウイルスの長い戦いや感染の波が繰り返される不安も。しかし、経済活動と感染拡大防止を両立させなければなりません。警戒しつつガイドラインや「新しい生活様式」を取り入れて、勇気を持って日常を緩やかに取り戻していきましょ

う。新型コロナウイルスは大いなる災いですが、一方で人びとの生活や意識、世の中の流れを変えるのではないかとされています。全国で旅館の開業や再生を手掛け、市内で旅館「里山十帖」を営む、雑誌「自遊人」編集長の岩佐十良氏が新聞社との対談やSNSで発信していることの中に、強く共感するところがあります。外出を自粛する中で、東京にいなくても仕事はできると気付き、首都圏から地方圏に移住を考える人たちは増えていく。そこに対するPRなどの取り組みは、地方創生の鍵にもなり得るだろう。「首都圏一極集中」への疑問符。また当市出身で日本を代表するIT企業フラー株式会社の若手社長、渋谷修太氏（しよや した）の首都圏から新潟への移住宣言も話題に。世界的規模で価値観の変化が起きる気配もある。利潤を最大化することだけを念頭にやってきた経済至上主義から、金銭では量れない、身近にある幸せ、家族や地域、安全・安心などの価値が高まるのではないかと。まさに南魚沼の出番では？この変化に地域を重

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

シリーズ
第87回

コートジボワール共和国 ニェザレ ダノン ロランさん



私の国はこんなところ

コートジボワールは象牙でよく知られていますが、実際にはカカオ豆の方が有名で、世界でも有数の生産国です。西アフリカに住む民族のほとんどが見られ、料理も非常に多様化しています。

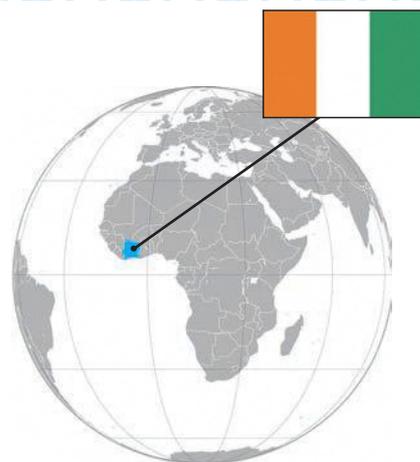
中でも、伝統料理の「アチケ」「フトゥ」「ビエコセウ」は本当にお勧めです。一度食べたら忘れられないでしょう！

お勧めの観光地は、豪華なビーチリゾート、4つの大河、壮大な滝のある西のモンタージュ、タイ国立公園の原生林、世界最大のヤムスクロの大聖堂などです。毎年、これらを訪れる多くの観光客を魅了しています。

南魚沼市に住んで感じたこと

私はテレビ番組から、日本の美食についての考え方（味わう前に感謝する心）を知りました。南魚沼では、本格的な日本料理を味わうことができます。私はいつも魚料理を注文して、食事の時間を楽しんでいます。調理方法に違いはありますが、子どもたちの家庭料理を思い出すことができるからです。

また、新幹線・橋・かんがい施設の整った田んぼなど、基盤技術の素晴らしさを感じることができます。これは私にとってとても印象的です！



コートジボワール共和国

[公用語]	フランス語
[首都]	ヤムスクロ
[面積]	322,436km ² (67位)
[人口]	25,716,500人 (53位)
[GDP(PPP)]	340億ドル(92位)
[通貨]	CFAフラン (XOF)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です